

# NEW GENERATION CLIMBERS

#001

## 伊藤ふたば

FUTABA ITO

森山憲一＝文・写真



「憧れは野口啓代さん。早く追いつきたい」



### PERSONAL DATA

出身地 岩手県盛岡市

生年月日 2002年4月25日

クライミング歴 5年

主な戦績

2016年 日本選手権 3位

2016年 ボルダリングジャパンカップ 4位

2015年 IFSCアジアユース選手権優勝(ユースC)

最高グレード

ボルダリング初段、リード5.13a

ホームジム

THE STONE SESSION

thestonesession.com

伊

藤ふたばさん。岩手県盛岡市に住む中学2年生である。「さん」と記すには違和感があり、本当は「ふたばちゃん」と書きたい。14歳になったばかりで、きゃっきゃと無邪気に笑うその姿には、まだあどけなさが残っている。身長は159.5cmというが、本人を前にしていると、そんなにあるようには見えない。明るく、華奢で、小さな女の子。それが素の「ふたばちゃん」の印象だ。

しかしいったんクライミングウォールに取り付けば、印象は一変する。手足が長く、遠いホールドにも軽々と手が届く。壁のなかで大きく見えるのはうまいクライマーに共通した特徴だが、彼女もその例にもれない。急に体がひとまわり大きくなったように見えるのだ。さっきの「ふたばちゃん」と同じ人とは思えない。顔つきすら違って見える。これは間違いなく、「クライマー・伊藤ふたば」だ。

この3月に開かれたクライミング日本選手権で、ふたばさんは3位に入った。このときの1位は、昨年のボルダリング・ワールドカップの覇者、野口啓代さん。そして2位はリード・ワールドカップで年間8位の大田理紗さん。世界で戦うトップクライマーを相手に堂々の3位。このときふたばさんはまだ13歳だった。

クライミングの世界では、それもとくに女性では、10代前半でトップレベルの実績を残す人がまれに現れる。ふたばさんより1歳上で、世界で注目されているアシマ・シライシさん(白石阿島。アメリカと日本の二重国籍)は、すでに女性最強というだけでなく、男性が登る世界最高難度にまであと1〜2グレードというところに迫っている。年齢制限があるためまだ出場できないが、ワールドカップに出れば優勝は間違いないとさえいわれている。現在、ワールドカップで活躍している小